

変体仮名で学ぶ『百人一首』

part2

日本古典文学作品は書写を繰り返すことによって、本文が後代に伝えられてきました。その際、変体仮名と呼ばれる書体が使用されました。

本講座では古典文学を代表する作品として『百人一首』を取り上げ、変体仮名で書写された原文を読み解いていきます。

その作品世界を深く味読していきたいと思います。

開催日時

- ① 5月10日（木） 13:30～15:30
変体仮名入門・清少納言の歌を読む
- ② 5月17日（木） 13:30～15:30
大伴家持と紀貫之の歌を読む
- ③ 5月24日（木） 13:30～15:30
伊勢と藤原定家の歌を読む

講師：小野 恭靖（大阪教育大学教授）

場所：大阪市立阿倍野市民学習センター
第1研修室

費用：3,000円

定員：40名（応募者多数の場合、抽選）

締切：平成30年4月27日（金）

申込方法（詳細は裏面）

- 来館
- 往復はがき
- インターネット

